

# 海上の森自然観察会

日時 10月20日(土)10:00~14:30(晴)

テーマ 木の実・草の実を観察しよう

参加者 一般2、指導員5

好天に恵まれ、さわやかな行楽日和でしたが、各地で秋まつりなどの行事があったためか、海上の森の駐車場は意外と空いていました。この日のテーマは「木の実・草の実」で、道すがら春から夏に花を見た植物がどんな実をつけているか、気をつけて観察することとし、アケボノソウの花を目指して出発です。

駐車場から出たすぐのところで、キハギとコバノガマズミの実を見つけました。キハギの実は豆の形からマメ科とわかります。今まで食べたことのない人には赤く色づいたコバノガマズミの実を賞味してもらいました。

歩き出してしばらくして、道路上にハリガネムシがここかしこに落ちているを見つけました。中にはまだ生きていたものもありました。その周りを見ると車にぶつかったのかハラビロカマキリが死んでおり、そこから出てきたものと思われます。四ツ沢までの間で9月まで花が見られたホドイモが実をつけていました。長さ10cmほどのインゲン豆のさやのような形状をしていて、初めて見たという人が多くいました。



(アサギマダラ)



(アケボノソウ)

海上川沿いの林の中では渡りの途中のアサギマダラに出会いました。スズカアザミの花に止まってしばらく吸蜜し、撮影モデルとなってくれました。

アケボノソウはちょうど見頃の7分咲き状態で、少し行った所でナギナタコウジュがこちらも見頃となっていました、センブリはまだ蕾でした。

見るものも多くここまでで既にお昼を回っていたので、海上の里のサテライトで遅い昼食をとり、大正池に向かいました。

当初は篠田池までいく予定でしたが、時間超過のため大正池の堰堤の横を通って四ツ沢に出て帰りました。

この日、木の実を観察して気づいたことですが、今年は不作のようでムラサキシキブ、ヤブムラサキ、カマツカ、サワフタギなどの実がほとんど見られませんでした。コナラなども少なかったようで、今秋クマが里に下りてきているという新聞記事も肯ける気がしました。(報告:齋竹善行)

<観察できたもの>

花:ヒメジョオン、シロツメクサ、ハナタデ、イヌタデ、シンミズヒキ、ツリガネニンジン、ツルニンジン(蕾)、ゲンノショウコ、スズカアザミ、ノアザミ、ノコンギク、ヤマシロギク、シラヤマギク、オケラ、コウヤボウキ、ガンクビソウ、コメナモミ、ヒヨドリバナ、アキノキリンソウ、セイタカアワダチソウ、コセンダングサ、ニガナ、セイヨウタンポポ、マキノスミレ、アキチヨウジ、ナギナタコウジュ、エゾシロネ、ヒメシロネ、アケボノソウ、センブリ(蕾)、キツネノマゴ、アメリカミズキンバイ

実:キハギ、クズ、ホドイモ、ヤブマメ、ヌスビトハギ、アレチヌスビトハギ、ケブカアレチヌスビトハギ(仮称)、ノササゲ、トキリマメ、ハリエンジュ、シュウブソウ、ヤブタバコ、ダンドボロギク、アメリカセンダングサ、ヤブレガサ、ワルナスビ、イタドリ、センニンソウ、タケニグサ、クサギ、スズメウリ、コアカソ、アオツツラフジ、ノブドウ、エイヅル、イヌガラシ、ダイコンソウ、オオヒキヨモギ、イノコヅチ、ヒメジソ、ウリカエデ、カマツカ、キンミズヒキ、ミヤコイバラ、コバノガマズミ、アセビ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、ウツギ、ノリウツギ、イヌザンショウ、アオギリ、イボタノキ、ヤマハゼ、ヌルデ、ゴンズイ、ヘクソカズラ、ミツバアケビ、ヤマノイモ、オニドコロ、ヤマジノホトギス、ヤブラン、チヂミザサ、ササクサ、キンエノコロ、チカラシバ、カゼクサ、

その他植物:フユノハナワラビ、ツチグリ sp

鳥:ヒヨドリ、モズ、ハクセキレイ、ウグイス(声)、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、カケス

昆虫:ハラビロカマキリ、オオカマキリ、セスジツユムシ、コバネイナゴ、アオマツムシ(声)、アサギマダラ、ウラギンシジミ、キチョウ、ヤマトシジミ、キタテハ、ミドリヒョウモン、クロコノマチョウ(蛹)、ウスギヌカギバガ、ホソミイトトンボ、オオアイトトンボ、マユタテアカネ、リスアカネ、コノシメトンボ、アキアカネ、ウスバキトンボ、ツクツクボウシ(声)、スズメバチ sp、ヌルデシロアブラムシ

その他動物:シマヘビ、ハリガネムシ